



みなさん、こんにちは。

業務紹介第7弾として官庁営繕分野のうち設備系の業務内容を、大臣官房官庁営繕部計画課 岡係長（入省5年目）より語っていただきました！



（官庁営繕部計画課 岡係長（入省5年目））

1. 官庁営繕分野（設備系）の業務の国土交通省における役割を教えてください。

官庁営繕部では、庁舎や文化施設など、全国に数千施設ある国家機関の施設の整備や保全等を行っています。有名どころでは、首相官邸や国立西洋美術館等、身近なところでは、ハローワークや税務署といった、幅広い建物の整備・保全等に関わっています。

こういった施設の整備では、建築担当・電気設備担当・機械設備担当の三者の存在が必要不可欠です。特に電気設備・機械設備では、建物の電気関係（照明設備、自家発電設備、通信設備等）や機械関係（空調・トイレ・エレベーター等）に関する、設計、施工および運用管理のための助言に至るまで、様々な役割を担っているだけでなく、施策の企画・立案や、技術的な基準類（地方公共団体等にも幅広く利用されています）の整備等を行っています。

2. 現在の目玉施策を教えてください。

官庁営繕部では、営繕事業・工事における生産性向上や働き方改革、防災・減災に向けた取り組み、環境対策など、様々な施策に取り組んでいます。最近では、令和2年6月に災害に強い官公庁施設づくりガイドラインを策定しており、国だけでなく地方公共団体の官公庁施設において、防災機能を確保するための参考としていただけるよう、官庁営繕の防災に係る技術基準やソフト対策、事例などをとりまとめています。



3. ご自身が担当されている業務内容について教えてください。

主な業務としては、官庁施設の整備構想の策定及び防災に関する業務を行っています。例えば官庁施設の整備構想においては、一定地域内の官庁施設を群として効率的なファシリティマネジメントを行うため、官庁施設の整備について重点的に取り組む施策や施設整備に関する重要な課題についての現況と対応の方向性等をとりまとめています。

4. 苦勞する点や、やりがいについて教えてください。

官庁営繕部に限ったことではないですが、異動がある（約2年に1回）ため、その都度業務内容を把握するのに苦勞しています。一方で、新しいことにチャレンジすることで、自分の知らなかった知識について実践を通じて学ぶことができたり、これまで知らなかった人と一緒に仕事をする事で新たな縁が生まれたりと、とても充実した日々を送っています。

5. 国土交通省を目指す方へのメッセージをお願いします。

国土交通省の仕事は、皆さんが外に出られて“目にするもの”そのものです。官庁施設だけでなく、鉄道があり、空港があり、川があり、ダムがあり、挙げればきりがありませんが、そういった様々なものに国土交通省が関与しています。だからこそ、やれることも多ですし、結果が形として見えやすい、そういった魅力があると思います。

官庁営繕分野に限らず、国土交通省の業務に興味を持っていただいた方は、是非、採用関係イベント等に参加していただき、より詳しい業務内容を聞いてみてください。きっと興味を惹かれる内容があるはずです。



とある庁舎の電気室の様子